

2009年度の自動車販売台数が1,380万台に達した中国は、今や世界一の自動車市場になりました。それでも中国では、自動車の所有者は70人に一人の割合に過ぎません。13億の人口を有する中国には、まだ大きな潜在購買力が存在しています。このダイナミックなマーケットに子会社を設立したdSPACEは、まさに活動の真っただ中にいます。

dSPACE China ゼネラルマネージャ
Dr. Henry Feng インタビュー

In the Middle of the Action

お客様にとって、dSPACE China はどのようなメリットがありますか？

dSPACE は、代理店を通じて、中国市場で 10 年以上も前から業務を続けてきました。大規模化した今日のシステムを詳細に記述し、その開発をスタートさせ、開発プロセスに統合するために、お客様はツールベンダと絶えず直接コミュニケーションを図る必要があります。そのため、2010 年 2 月から、中国国内のお客様へのサポートは上海の新しいオフィスで直接行うことになりました。これにより、中国のお客様は、経験を積んだ dSPACE の現地担当者から直接エンジニアリングサービスを受けることができ、コミュニケーションも容易になりました。

dSPACE China には、どのような担当者が在籍していますか？

包括的で質の高いサービスを提供するコンサルティング、エンジニアリング、サポートのグループとファイナンスの担当者が在籍しています。初期段階の計画からプロジェクトの実装まで、直接お客様をサポートする、フィールドアプリケーションエンジニアおよびコンサルタントも配置しています。担当エンジニアは、ドイツの dSPACE 本社のエンジニアリング部門および開発部門で経験を積んだ dSPACE エキスパートです。私たちは、dSPACE プロジェクトの広範な経験を持った自動車の専門家によるチームの拡充を常に心がけています。

Dr. Feng さんは中国で生まれ、スウェーデンに長くお住まいだったそうですが、どのような経緯で dSPACE で働くようになったのですか？

1995 年に私は、二人の組込み制御エキスパートとともにスウェーデンで代理店 Fengco を設立しました。ですから、私は 15 年以上も前から、dSPACE の事業内容を非常によく理解しています。今、dSPACE China と中国のお客様のために私のノウハウを役立てることができることを非常に嬉しく思います。

中国市場の特徴と、dSPACE China がそれにどのように対応しようとしているのかをお聞かせください。

自動車の製造に必要な政府の認可を受けている中国企業数は 100 社以上にのぼります。そのうちの 50 社が実際に自動車を製造し、そのうちの 5 社は、製造する車

両と電子機器の開発も独自に行っています。中国市場は流動的です。合併企業も数多く存在し、さまざまな変化が起こっています。現時点で、10 社の主要 OEM が、中国で販売される自動車の 90 % を製造しています。市場の変化を敏感に感じ取れ

サポートしています。私はこうした活動の中心にいて、すべての調整役を引き受けています。透明性が非常に高く、カスタマーフレンドリなソリューションを保証するために、エンジニアリング、セールス、ロジスティクス、ファイナンスの各部門の調和の

自動車の製造に必要な政府の認可を受けている中国企業数は 100 社以上にのぼります。

るセンスを養うには、現場に身をおく必要があります。dSPACE はまさに変化の激しい市場に対応すべく活動中です。私たちはお客様の要求に迅速に応え、スピーディに意見を交換することが重要です。

中国の自動車産業における現在の動向はどのようなものでしょうか？

ハイブリッドカーと電気自動車に大きな関心が寄せられています。中国政府は、代替駆動システムの開発に約 60 億ユーロを投資する計画です。燃料消費と CO₂ 排出の削減が求められる燃料効率の問題は、中国のエンジニアの大きな関心を集めています。dSPACE のツールを使用することで、アイデアを短時間で実現でき、複雑な電子システムをエラーから確実に保護することができます。

あなたの一日の仕事はどのようなものですか？

お客様の満足が私たちの最優先事項です。お客様のプロジェクトの立ち上げからターンキーソリューションまで、総合的に

取れた連携が重要になります。それには、有能なチームと業界との信頼関係のネットワークが必要です。

dSPACE China の第一目標は何ですか？成長すること、dSPACE の市場を開拓すること、お客様に最高のサービスを提供することです。

dSPACE の仕事を家庭にまで持ち込んでいるわけではありませんか？

確かに (笑)、時には 15 時間も働く日があり、気持ちを切り替えてリラックスすることはなかなかできません。それでも、プロフェッショナルなチームを率いて中国のお客様のお役に立てることは大きな喜びです。

インタビューにご協力いただき、ありがとうございました。

